



御代田町長 茂木 祐司

自治体の役割を自覚し 皆さまの安全と健康、

福祉の前進へ

平成二十五年

皆さまにはお元気で、平穩な新年を迎えられたこととお喜びを申し上げます。

今年も、皆さまのご支援とご協力をいただき、職員一同、心を合わせて町民の皆さまの期待にこたえられる町政の前進に向けて頑張る決意を新たにしています。

いま、日本の政治と経済は、大きな混乱の中にあります。いかなる状況下でも、住民の安全と健康、福祉の保持という地方自治体の役割を深く自覚し、安心できる町づくりに向けた、いっそうの努力が、私たちに求められています。

健康な町づくりに

関心が集まりはじめて

町が、保健師などを増員して、5年前から取り組みをはじめた「健康な町づくりプロジェクト」に注目が広がっています。健康ウォーキングの

促進に向けたウォーキング

ポールの購入に対する補助制度は全国初の取り組みで、昨年は朝日新聞や毎日新聞などの全国紙にも紹介されました。また、北海道や福島県、栃木県などの市町村議会の視察研修も増えています。町が進める健康な町づくりが、全国に情報の発信が始まっています。

この間の取り組みによって、例えば6年前は長野県で一番高かった国保税が、現在は16番目までに改善されてきています。介護保険料は、県内で2番目でしたが、41番目に改善が進んでいます。

こうした前進の始まりは、町民の皆さまが意識して健康で生活する努力をしていただいていることや、介護予防の取り組みなどに積極的にご参加いただいたりしている成果であると、心から感謝を申し上げます。

町が進める道路改良に

ご協力をお願いします

町ではいま、町内の道路改良を重点的に進めています。一番大きな工事は、しなの鉄道の上に架かっている「栄橋」の架け替え工事です。列車の安全の確保のために深夜の工事となり、約2年近い通行止めと夜間工事による騒音など、多くの方々に大変なご迷惑をおかけしています。

町では、国からの有利な財政支援の事業を積極的に活用して、将来に向けて必要な道路工事などの公共事業を集中的に取り組んでいるところで

す。ぜひとも、皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

町民の皆さまにとりまして、今年が明るい年となりますようご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

新春あいさつ

世代間交流の盛んな

明るい御代田町



町議会議長 内堀 恵人

新年あけましておめでと
うございます。

輝かしい平成25年の新春を
迎え、皆さまには平和で希望
溢れる年になりますことを、
心よりご祈念申し上げます。

日ごろは議会に対しまして、
町民の皆さまから温かいご支
援・ご協力をいただき、ご支
ますことに、議会を代表しま
して心から御礼と感謝を申し
上げます。

昨年は、韓国との竹島、中
国との尖閣諸島などの領土問
題から端を発し、中国での反
日デモ、日本製品不買行動な
ど、国際社会での日本の地位、
日本の経済活動に多大な影響
がある一年でした。

一方、社会情勢は一昨年の
東日本大震災の復興は徐々に
進みつつありますが、原子力

発電の是非を含めた、わが国
のエネルギー政策の根幹が定
まらず、将来の大きな課題と
なっています。

また、政治に目を向けます
と昨年12月の総選挙の結果、
新たに発足した新政権の大き
な課題は、相変わらずの失業
率の高さ、雇用不安景気対策
など、日々の生活に直結した
重要政策です。

このような情勢の中、御代
田町においては、しなの鉄道
の栄橋の架け替え、シチズン
通りの整備、河川・道路整備、
対象の区民の皆さまにご協力
をいただいた世代間交流セン
ターの新設や、消防団詰所の
建て替えなど、町づくり交付
金を活用して、社会基盤の整
備に引き続き務めてまいりま
す。

加えまして、長年の課題で
ありましたごみ処理は、佐久
市・立科町・軽井沢町の一市二
町で進めている共同事業に御
代田町が参加し、地域住民の
皆さまのご協力をいただきな
がら進めています。

議会としましては、町民の
皆さまの声が届く、町づくり
のため努力してまいります。

今後とも、皆さまに信頼さ
れ期待される議会を進めてま
いりますので、より一層のご
支援・ご協力をお願い申し上
げます。

終わりに、平成25年が御代
田町にとって、素晴らしい年
でありますと同時に、町民の
皆さまのご多幸とご健勝を心
よりお祈り申し上げ、新年の
ごあいさつとさせていただきます。